

全日本玉入れ選手権 競技規則 アジャタルール 《用具編》

●競技場所 諸塚村民体育館

●参加選手

選手数	登録(監督含む)8名以内 出場選手6名
性別	男女問わず
年齢	中学生以上(中学生のみチーム編成は認めない) 但しそのチームに成人者1名以上の参加の場合は認める (成人者の証明書添付)

●競技用具

①アジャタコート



②アジャタバスケット(公認)



③アジャタボール(公認)



④アジャタシューズ

屋内用シューズ(運動靴)を着用とする

全日本玉入れ選手権図解編

① スタート位置



アジャタボールをサークル内に配置し、選手は全員サークル外で後ろ向きでスタンバイします。
号砲スターターにより一斉に玉入れを開始します。
※アンカーボールは最後に入れるのできちんと管理するとよいです。
※監督がサークル外で指示するのはOKです。

② 投球開始

アジャタボールの入れ方は道具を使わなければ自由です。
選手6人のバリエーションプレイを各々作戦として研究してください。
例えば、投球する人、ボールを集める人などのフォーメーションを時間とともに変化させていきます。



アドバイス

基本的に投げ方は自由ですが、下記の方法がおすすめです。
6個のボールを交互に積み一度に投球します。



③ フィニッシュ (アンカーボールを入れる)

アンカーボールがバスケットの中に入った時点でのタイムを、ストップウォッチで計時します。

アドバイス

アンカーボールが一番投球の上手な人、あるいは調子の良い人が入れると成功しやすくなります。



全日本玉入れ選手権 競技規則 アジャタルール 《ルール編》

●基本ルール

「全日本玉入れ」は6人の選手が合計100個(アジャタボール×99、アンカーボール×1)のボールをバスケットに入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツです。

- ①出場選手は6名で、一人でも欠けると失格です。
- ②スタートはフライング防止のため後ろ向きからとなります。(号砲スタート)
- ③アジャタボールを先に入れ、アンカーボールは一番最後に入れます。(先に入れると失格)
- ④100個のボール全部入っていないと失格。
- ⑤棒などの道具や肩車などの投球は失格。
- ⑥ボールがバスケットにかかっている場合セーフ。バスケットにかかっているボールをアンカーボールで落としてもセーフ。
- ⑦選手以外の人がアジャタボールに触れると失格となります。
- ⑧その他試合運営については監督会議で通知します。

上記ルールは平成8年4月15日に正式決定され、選手権大会はすべてこのアジャタルールを基として開催されます。

詳細については下記にお問い合わせください。
TEL (0982) 65-1111 (諸塚村民体育館内玉入れ協会事務局)
FAX (0982) 65-0032

